

ニュース

(1)Windows10 版「MakeCode for micro:bit」のベータ版が Microsoft ストアで公開(2018年4月14日)されました。ブラウザ版とほぼ同じですが、「ダウンロード」ボタンで USB 接続している micro:bit に直接プログラムを転送できます。



<https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/makecode-for-micro-bit/9pjc7sv48lcx>

(2)python Mu 1.0.0 がリリースされました。日本語可ができています。

<https://codewith.mu/en/download>



正誤訂正

なお正誤部分は、J A教育研究会のホームページに記載いたしますのでご了承ください。

<http://www.ne.jp/asahi/ja/asd/jaera/>

●P.18,19 の周波数を入れるブロックが、「音楽」ではなく「入出力端子」の「さらに表示」の中にもありました。記述の通りの仕方でも可能ですが、このブロックを使ってください。

音階と周波数

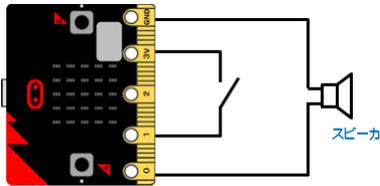
(誤) ●ブロックベースでは音階を指定できますが、周波数は直接指定できません。

(正) ●ブロックベースでは音階を指定できます。周波数を指定するときは「入出力端子」の「さらに表示」の中にあるブロックを使用します。



●P.35の4. 外部のスイッチを使う回路は、P0 端子がプルアップ抵抗を内蔵済み (p.32 参照) ですので、下記の回路の方が良いので訂正します。

4. 外部のスイッチを使う



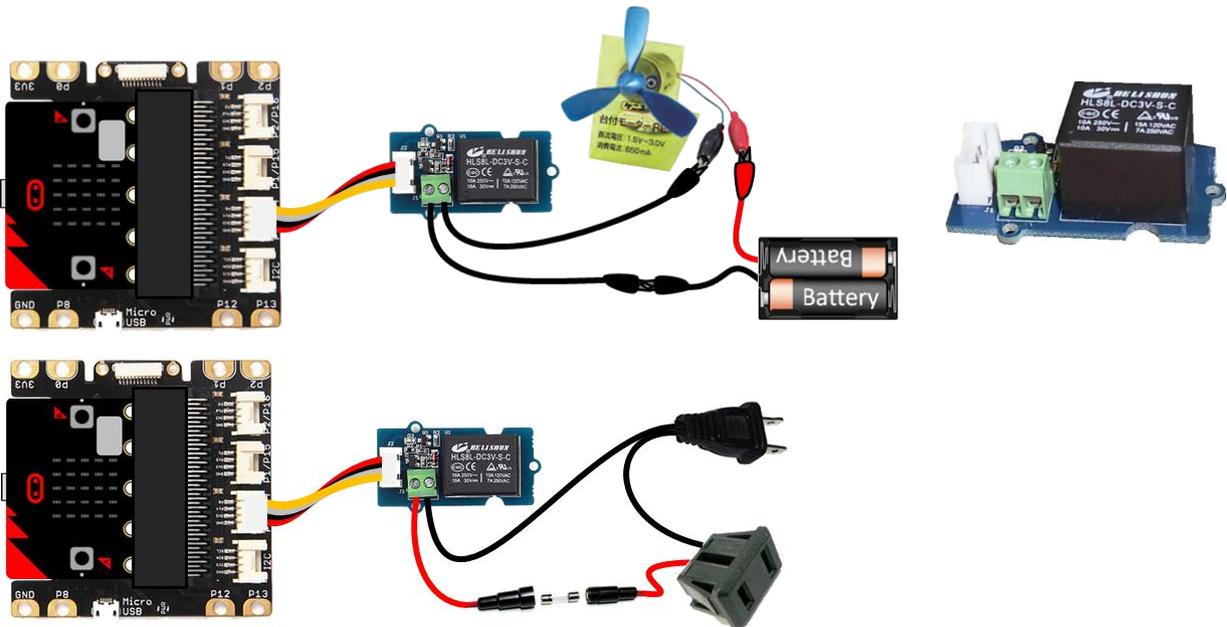
●P.36の6.リレーを使うの図で使用したリレーキットは交流専用でしたので、下記の図に訂正してください。

6.リレーを使う

メカニカルリレーやソリッドステートリレーで簡単に電流の断続が接続できます。リレーキットを使うと便利です。リレーへの電源は micro:bit を介さない形で供給して下さい。

・Grove リレー 参照サイト <https://www.switch-science.com/catalog/807/>

※このリレーモジュールは 3.3V~5V で動作します。(3V 電源で使用する場合は昇圧して使用)



・秋月 SSRキット 参照サイト <http://akizukidenshi.com/catalog/g/gK-00203/>

(このキットは100V 機器専用ですので、直流は断続できません)

